

憲法・学校教育法
学習指導要領
県・市の教育方針等
伊勢崎学校教育
構想 2019

地域の実態
・農業、工業、商業が
バランス良く発展し
ている。人口増加。

学校教育目標
よく学び心豊かでたくましい児童の育成

目指す学校像・児童像

1 学校像
持続可能な未来社会を切り拓くことができる子どもを育む学校

2 児童像
(1)よく学ぶ子ども…人の話をよく聞き、考え、進んで問題を解決する子ども
(2)心豊かな子ども…あいさつができ、思いやりと感謝の気持ちで協力できる子ども
(3)たくましい子ども…心身を鍛え、最後までやり抜く子ども

児童の実態

- ・明るく活発である
- ・与えられた仕事は責任をもって取り組める
- ・上級生として、主体的に動けるようにしたい。
- ・自立、節度、公共心などに課題が残る

経営方針

教育行政方針や学校教育方針、伊勢崎学校教育構想2019の考え方を基本として、以下の経営方針を掲げ、本校の教育課題の解決を目指して実践する。

- 1 安全管理の徹底と安全指導の充実、児童や保護者の気持ちに寄り添った生徒指導の徹底
- 2 学校経営ビジョンの明確化と共有化による全教職員の経営参画、理論と実践の双方の研修の充実
- 3 地域とともにある学校、保護者や地域から信頼される教育の実践

学校経営上の課題

持続可能な未来社会を切り拓くことができる子どもを育む学校

- 1 児童が安全に安心して学べる学校づくり
- 2 教職員の指導力向上と学校の組織力向上
- 3 地域に根ざした学校づくり

学年教育目標		
1年	①よく聞き、はっきり話す子	③最後までがんばる子
2年	①話を聞いて思ったことをきちんと話す子	③最後までがんばる子
3年	①話をよく聞き話す子	③最後までがんばる子
4年	①よく聞き考える子	③努力を続ける子
5年	①進んで考え表現する子ども	③心身をきたえ、根気よくがんばる子ども
6年	①進んで考え表現する子ども	③心身をきたえ、根気よくがんばる子ども
	②なかよく助け合う子	
	②友だちに親切にできる子	
	②だれとでもなかよく助け合う子	
	②みんなで協力する子	
	②友だちのよさを知り、協力できる子ども	
	②友だちのよさを認め、協力する子ども	

児童が安全に安心して学べる学校づくり

- 1 教職員一人一人が危機管理意識を持つとともに、安全主任・養護教諭を中心にして、学校安全全体計画や自然災害、不審者侵入、熱中症等の発生を想定した危機管理マニュアルの定期的な見直しを行う。
- 2 学校の施設設備の安全点検は、同一の教職員による点検を避け、定期的に点検者を替える。また、通学路については、保護者や地域関係者による点検も定期的実施することにより、「見落とし箇所」を絶対に出さない。
- 3 「学校いじめ防止基本方針」に則り、「いじめはいつでもどこでも誰にでも起こり得る」ことを教職員が再認識した上で、生徒指導主任及び教育相談担当を中心に、児童を多面的に把握・理解し、情報を共有できる体制を作り、全教職員でいじめの未然防止と早期発見・早期指導に努めることを徹底する。
- 4 あいさつ運動や美化活動、歌唱指導や文化的な活動の充実を図ることで、豊かな情操を育む。

教職員の指導力向上と学校の組織力向上

- 1 校長としての学校経営ビジョンを明確化した上で、教職員とビジョンの共有化を図り、教職員の経営参画への意識を高める。
- 2 管理職による日々の授業参観や自己申告書の作成・面談における指導は、丁寧に行い、教職員のキャリアステージに応じた指導助言をしたり、学校経営に係り期待することを伝えたりする。
- 3 研修主任を中心に、教職員の授業改善・向上のために、教職員が意欲を持って取り組むことができる校内研修を企画する。また、教務主任を中心に、週案を活用した教育課程の量的・質的管理を徹底する。併せて、教育活動に自然体験、社会体験、宿泊体験等の「体験活動」を系統的・計画的に編成する。
- 4 新年度企画委員会により、児童と向き合う時間・環境を確保するための具体的方策を、実現可能性と有効性の2観点から検討、実施し、教育の質的向上を図る。

地域に根ざした学校づくり

- 1 地域の人材、社会教育施設、青少年教育関係団体等、地域の教育資源を教育活動に積極的に取り込んだり、地域住民との交流や地域に貢献できる活動を実施したりすることにより、学校教育の充実と地域づくりの推進を図る。
- 2 学校だよりやホームページ等による積極的な情報発信を行い、保護者や地域住民から学校運営に対する理解と協力を得るとともに、信頼に値する教育の実践に努める。
- 3 学校課題に焦点化した学校評価を実施し、PDCAサイクルにより、評価結果をその後の学校経営の改善向上に役立てる。
- 4 服務規律の確保、来校者への温かみのある接遇等、信頼される学校・教師となる。

校内研修

自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成

～主体的・対話的な学び合いの工夫を通して～